

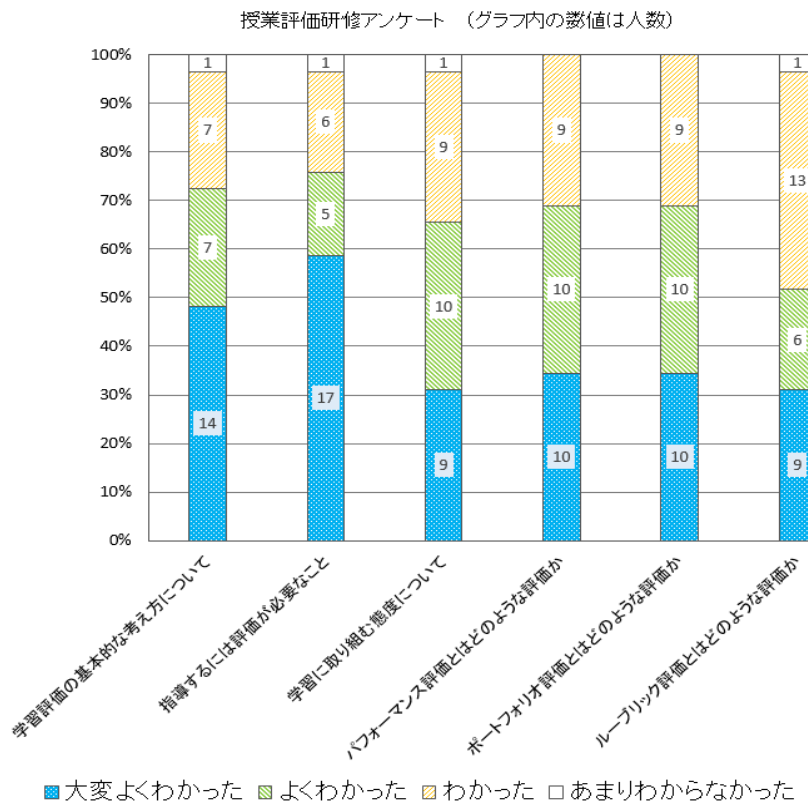


ニュージャーシー 補習授業校通信

土曜日は日本の教育を

授業でどのように評価をしていくのか

よりよい授業を行うために、九月十九日に
授業評価についての研修会を全教員対象に開



①パフォーマンス評価
学んだ知識や技能を使
って表現する作文、レポー
ト作品などやスピーチ、プ
レゼン、グループ活動によ
る課題解決、実験への取り
組みなどから評価する。

「よくわかった」という回
答が76%でした。
今後、授業中の漢字テス
トや児童による音読、プレ
ゼンテーションなどが増
えていくと思われます。
また、作文やレポート課
題などの宿題も評価の対
象となっています。
アンケートに書かれて
いる3つの評価について
簡単に説明します。

②ポートフォリオ評価
児童一人一人の学習の過程や成果の記録を
集積し評価する方法。計画的に学習状況をフ
ァイルすることで、成長の過程や課題を明確
にしていく。
③ルーブリック評価
何をどの程度評価するか学習事項に関して
評価基準表を作り、それに基づいて評価する。
①から③の評価についてすでに行っている
という回答が約10%ありました。
また、やってみたいという回答は80%を
超えました。

評価研修により、子供達の学習の励みとな
る評価を本校は目指しています。ここで問題
になるのは、テストや課題の提出方法です。
すでに行っていたりしていることですが、担
任の希望する方法で提出するようにしてくだ
さい。画像で送る。PDFで送る。グループクラ
スを使うなど方法は担任によって異なります。
高学年の児童・生徒の場合は自分で対処する
ことが可能ですが、低学年の場合は保護者の
皆様のお力添えが必要です。
全教員が心を込めて提出物の採点や添削を
いたします。家庭にもご負担を
おかけすることになりますが、
ご協力をお願いします。

第二十号
令和二年
十月三十日

発行